

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場会社名 株式会社 WDI
 コード番号 3068 URL <http://www.wdi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大

(氏名) 清水 謙
 (氏名) 佐々木 智晴

TEL 03-3404-3704

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	12,949	△3.7	660	31.5	433	52.7	△80	—
22年3月期第3四半期	13,441	△12.9	502	—	284	—	219	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△12.67	—
22年3月期第3四半期	34.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	8,667	1,067	11.9	163.38
22年3月期	8,597	1,265	14.3	194.52

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,034百万円 22年3月期 1,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				6.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,855	△4.4	588	4.1	435	33.7	102	46.6	16.15

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 6,331,920株 22年3月期 6,331,920株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 312株 22年3月期 170株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 6,331,728株 22年3月期3Q 6,331,750株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国の経済成長や政府による経済支援政策の効果などによって、企業収益に緩やかな回復の兆しは見られたものの、依然として雇用情勢は厳しく、円高やデフレの影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、消費者の生活防衛意識や節約志向の高まりから、外食を控える傾向はまだ強く、来店客数の減少、客単価の低下等、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、前期より実施しているプライムコスト（売上原価・人件費）コントロールの徹底、本社部門のダウンサイジングといった収益力向上施策を継続し、今期は既存店舗における売上・来店客数の向上を目的とした「4つのオフェンス施策」を順次進めております。

フランチャイズ展開での新規出店といたしまして、日本国内において「カプリチョーザ」を2店舗、「トニーローマ」を1店舗出店いたしました。海外では「カプリチョーザ」を台湾に1店舗、「レインボー・ロール・スシ」をタイに1店舗出店いたしました。

業績につきましては、上記施策が奏功し既存店舗における来店客数に回復基調が見られた影響により、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,949百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

営業利益は、国内におけるプライムコスト（売上原価・人件費）コントロールを徹底したことによる店舗の収益力向上に加え、海外業績が好調に推移したことにより、660百万円（前年同期比31.5%増）となりました。

経常利益は、当第3四半期連結累計期間末の為替レートが前連結会計年度末より円高へと進んだ影響による為替差損150百万円を計上したこと等により、433百万円（前年同期比52.7%増）となりました。

四半期純損失は、事業整理損失263百万円を計上したこと等により、80百万円（前年同期は四半期純利益219百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

国内では、売上高は9,732百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は838百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

②北米

北米では、売上高は2,143百万円（前年同期比4.4%減）、営業損失は43百万円（前年同期は営業損失193百万円）となりました。

③ミクロネシア

ミクロネシアでは、売上高は924百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は107百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

④アジア

アジアでは、売上高は187百万円（前年同期比42.1%増）、営業利益は46百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期末の総資産は、8,667百万円（前連結会計年度末より69百万円増加）となりました。これは、現金及び預金の増加が主な要因であります。

負債については、7,599百万円（前連結会計年度末より267百万円増加）となりました。これは、借入金の増加が主な要因であります。

純資産については、1,067百万円（前連結会計年度末より197百万円減少）となりました。これは、利益剰余金の減少が主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,436百万円となり、前連結会計年度末より597百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果増加した資金は421百万円（前年同期は818百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益149百万円、減価償却費465百万円を計上した一方で、その他流動資産の増加138百万円、賞与引当金の減少103百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は258百万円（前年同期は184百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出184百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は501百万円(前年同期は504百万円の減少)となりました。これは主に長期借入れによる収入1,800百万円があった一方、長期借入金の返済による支出1,284百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2010年10月19日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました2011年3月期の連結業績予想から修正は行っておりません。

詳細につきましては、2010年10月19日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

② 税金費用の計算については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

③ 繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

② 企業結合等が当第3四半期連結会計期間に行われたことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

③ 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

④ 営業活動によるキャッシュ・フローの「固定資産売却損益」は、前第3四半期連結累計期間では営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりましたが、当第3四半期連結累計期間において区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「固定資産売却損益」は46,322千円であります。

⑤ 営業活動によるキャッシュ・フローの「固定資産除却損」は、前第3四半期連結累計期間では営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりましたが、当第3四半期連結累計期間において区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「固定資産除却損」は3,239千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,744,731	1,073,766
売掛金	243,592	216,017
たな卸資産	266,797	255,820
1年内回収予定の長期貸付金	9,852	9,852
預け金	513,449	427,889
繰延税金資産	199,849	206,457
その他	501,788	346,383
貸倒引当金	△43,652	△29,997
流動資産合計	3,436,408	2,506,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,403,989	5,849,431
減価償却累計額	△3,040,171	△2,994,016
建物及び構築物(純額)	2,363,818	2,855,414
工具、器具及び備品	1,474,555	1,507,031
減価償却累計額	△1,053,132	△986,579
工具、器具及び備品(純額)	421,422	520,451
土地	232,941	232,941
建設仮勘定	4,279	1,059
その他	26,989	27,972
減価償却累計額	△18,780	△18,887
その他(純額)	8,209	9,084
有形固定資産合計	3,030,671	3,618,951
無形固定資産		
その他	260,271	313,118
無形固定資産合計	260,271	313,118
投資その他の資産		
投資有価証券	4,332	6,762
長期貸付金	109,652	171,951
敷金及び保証金	1,387,912	1,409,946
繰延税金資産	292,432	333,277
その他	148,771	240,822
貸倒引当金	△3,267	△3,266
投資その他の資産合計	1,939,834	2,159,492
固定資産合計	5,230,777	6,091,563
資産合計	8,667,186	8,597,752

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	470,218	437,645
1年内返済予定の長期借入金	2,175,174	2,051,025
未払金	572,651	546,131
短期借入金	23,000	—
未払法人税等	74,960	189,989
賞与引当金	97,309	200,457
販売促進引当金	12,900	10,000
資産除去債務	24,130	—
その他	550,906	564,397
流動負債合計	4,001,249	3,999,646
固定負債		
長期借入金	3,185,680	2,808,537
繰延税金負債	68	6,259
その他	412,225	517,379
固定負債合計	3,597,973	3,332,176
負債合計	7,599,223	7,331,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,558	585,558
資本剰余金	588,655	588,655
利益剰余金	132,317	250,537
自己株式	△179	△124
株主資本合計	1,306,350	1,424,627
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,509	4,128
為替換算調整勘定	△265,365	△197,124
評価・換算差額等合計	△271,875	△192,995
少数株主持分	33,487	34,298
純資産合計	1,067,963	1,265,930
負債純資産合計	8,667,186	8,597,752

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
売上高	13,441,316	12,949,799
売上原価	3,296,030	3,224,362
売上総利益	10,145,286	9,725,437
販売費及び一般管理費	9,643,278	9,065,380
営業利益	502,007	660,056
営業外収益		
受取利息	9,484	8,030
出資金運用益	2,495	16,531
受取補償金	21,273	20,770
その他	27,492	15,234
営業外収益合計	60,745	60,567
営業外費用		
支払利息	129,834	96,133
為替差損	122,644	150,207
その他	26,050	40,343
営業外費用合計	278,529	286,684
経常利益	284,224	433,939
特別利益		
固定資産売却益	3,090	549
子会社株式売却益	31,688	—
貸倒引当金戻入額	128	—
出資金売却益	65,781	—
過年度店舗閉鎖損失見積差額	—	5,300
立退料収入	—	23,000
特別利益合計	100,688	28,849
特別損失		
固定資産売却損	49,412	911
固定資産除却損	3,239	3,741
店舗閉鎖損失	11,226	17,296
貸付金繰上回収費用	16,546	—
減損損失	—	26,478
事業整理損失	—	263,744
その他	3,034	1,000
特別損失合計	83,459	313,172
税金等調整前四半期純利益	301,453	149,617
法人税等	135,736	233,229
法人税等還付税額	—	△24,515
過年度法人税等	—	18,914
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△78,010
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△53,308	2,219
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219,025	△80,230

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	301,453	149,617
減価償却費	547,006	465,895
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△107,795	△103,147
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△77	17,432
受取利息	△9,484	△8,030
支払利息	129,834	96,133
為替差損益 (△は益)	121,975	151,537
出資金運用損益 (△は益)	△2,495	△16,531
固定資産売却損益 (△は益)	—	362
固定資産除却損	—	3,741
店舗閉鎖損失	11,226	17,296
事業整理損失	—	263,744
貸付金繰上回収費用	16,546	—
子会社株式売却損益 (△は益)	△31,688	—
出資金売却損益 (△は益)	△65,781	—
減損損失	—	26,478
立退料収入	—	△23,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△53,062	△40,936
たな卸資産の増減額 (△は増加)	22,424	△35,950
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△65,849	△138,805
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	161	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,938	53,818
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△142,774	52,478
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	149,674	△59,501
その他	54,682	21,497
小計	893,916	894,129
利息の受取額	5,206	4,283
利息の支払額	△92,021	△79,216
法人税等の支払額	△39,101	△431,429
法人税等の還付額	50,056	33,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	818,056	421,174

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△289,067	△184,534
有形固定資産の売却による収入	50,672	2,585
無形固定資産の取得による支出	△22,944	△21,380
無形固定資産の売却による収入	—	2,233
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	29,986	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△15,019
出資金の回収による収入	6,574	24,343
長期貸付けによる支出	△500	△6,840
長期貸付金の回収による収入	128,915	10,183
定期預金の預入による支出	△295,000	△90,279
定期預金の払戻による収入	103,921	15,006
敷金及び保証金の差入による支出	△7,548	△4,788
敷金及び保証金の回収による収入	117,760	16,791
その他	△7,076	△7,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,306	△258,742
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	340,000
短期借入金の返済による支出	—	△317,000
長期借入れによる収入	910,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,414,602	△1,284,866
配当金の支払額	—	△36,971
自己株式の取得による支出	—	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△504,602	501,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	△102,626	△66,086
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	26,521	597,452
現金及び現金同等物の期首残高	1,256,074	838,925
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,282,595	1,436,377

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。